２０２２年２月吉日

溶接構造研究委員会
委員各位

一般社団法人　溶接学会
溶接構造研究委員会
委員長　中谷光良（公印省略）

第２４０回　溶接構造研究委員会　開催案内
（第５１回（社）日本船舶海洋工学会　材料・溶接研究会との合同委員会）

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より溶接構造研究委員会にはご支援ご協力賜り，感謝申し上げます。

さて，２０２２年３月より，新しい年度での委員会活動が始まりますが，第１回目の第２４０回溶接構造研究委員会を下記要領にて開催致します。今回は，恒例となっております（社）日本船舶海洋工学会 材料・溶接研究会との合同委員会となります。委員各位の情報収集と活発な議論の場になることを期待しております。なお，年度が変わりますので，ご出席いただける方は，研究委員会オンライン誓約書の提出をお願いいたします。出欠は３月７日（月）までに岡野（okano@mapse.eng.osaka-u.ac.jp）宛にお知らせください。

敬具

記

１．日 時
２０２２年　３月　１５日（火）１３：００～１７：００

２．会 場（オンライン開催）
MicrosoftTeams（ホスト：溶接学会）
（MicrosoftTeams へのアクセス方法は，参加申込み頂いた後にメールでご案内します）

- ご出席の場合は，「2022年度 研究委員会オンライン開催に伴う誓約書」の提出をお願いします。
- オンライン開催のため一事業所より複数名ご参加されても無料といたします。
  但しオンライン誓約書（委員外）を代表委員が参加者全員分取り纏めたうえで事務局へ申込をお願いいたします。（追加・代理出席の方が個別に申込されることはお控え下さい）

３．委員会　　※講演順は変更の可能性があります。
（１）「パイプライン円周溶接部の延性き裂進展挙動に対する内圧の影響」
〇小貫翔馬（東京ガス）

（２）「破壊靭性試験における残留応力緩和処理による材料損傷挙動の結晶塑性論的検討」
〇三上欣希，中尾俊貴，伊藤和博（阪大接合研），川畑友弥（東京大）

（３）「IGC code におけるアンモニア特別要件制定の経緯と技術的背景」
〇鈴木翔太(日本海事協会)

（４）「溶接残留応力場におけるき裂先端応力拡大係数の特性テンソル法による解析」
〇斎藤啓（JSOL），麻寧緒（阪大接合研）

４．オンライン開催に伴うご参加について
（参加方法について）
① ご出席回答締切日２０２２年３月７日（月）までに「2022年度 研究委員会オンライン開

催に伴う誓約書」が未提出の方はご提出を必ずお願い申し上げます。既に提出された方は提出不要です。

② 参加のご連絡と誓約書をご提出いただきましたら，会議室番号URL，オンライン開催に関する情報を別途ご案内いたします。この情報はご参加者のみご利用をお願い申し上げます。

（配布資料について）

当日の配布資料，ご講演資料は委員会開催前にダウンロードシステムを利用し皆様へご送付致します。

オンライン開催当日までにご自身にて印刷を行っていただきお手元にご準備の上ご参加をお願い申し上げます。

（オンライン開催注意事項）

① 講演中，聴講者はマイク：OFF，カメラ：OFFにてご参加をお願いします。

② 各講演終了後に１０分～１５分の質疑応答時間がございます。ご質問がある方は，挙手ボタンを利用してください。
司会者より指名を受けた方はご自身でマイク:ON,カメラ:ONに切り替えて発言ください。

③ カメラやマイク機能を有しない場合はそれぞれの機能をOFFのままで結構です。また，ご質問がある場合はチャット機能による質問も受付けますが，質問の順番は司会者に一任ください。

④ 司会者等より別途指示があれば，それに従いご参加をお願い申し上げます。

＊オンライン配信画面の撮影，録音，スクリーンショットおよびその他の映像機器をご利用されての記録は絶対に行われませんようお願い申し上げます。

オンライン開催にて会議進行等至らぬ点もあるかと存じますが，円滑な運営に向けて対応していきたいと存じますのでご協力賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

【ご不明の点がございましたら下記まで遠慮なくお問い合わせ下さい】

〒565-0871　大阪府吹田市山田丘2-1
大阪大学大学院工学研究科
溶接構造研究委員会 幹事長　岡野 成威
TEL : 06-6879-7559, FAX : 06-6879-7561，E-mail : okano@mapse.eng.osaka-u.ac.jp